

毎週 水曜発行
(8月から週 1 回発行となりました)

復興ニュース

56号
2012年
1月4日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市盛町字内の目 14-15
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR
メール kesenshimin.f.r@gmail.com

復興もちつきとお茶キャラバン 三鉄盛駅ふれあい待合室 無料

1月9日(月・祝日) 10:00~12:00



新年を祝って、ふれあい待合室で「もちつき」を行います。おもちは、「あんこもち」と「きなこもち」にして、皆様にご賞味いただきます。餅つきにはご来場の皆様に、もちつきのお手伝いもお願いいたします。

オープンにはよさ恋：破天荒の披露や法螺貝吹奏もあります。さらに「おふぶ茶苑」(京都)の皆さんが、全国のお茶生産地をめぐる「お茶キャラバン」として到着し、抹茶や煎茶等のお茶を振るまってくれるものと思います。また、大船渡市出身の歌手：浜守栄子さんも来て、歌を披露いたします。ホームに停車している車両も開放

し(午後4時まで)、楽しい交流が出来る1日といたしますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。救援物資も置いてあります。主催：三鉄盛駅ふれあい待合室(夢ネット大船渡)

第6回 無料法律相談

1月14日(土) 午後2時~4時 } 相談場所
1月15日(日) 午前10時~12時 } 三鉄盛駅ふれあい待合室

東京の「NPO 法人ヒューマンライツ・ナウ」主催、夢ネット大船渡協力による無料法律相談会は、これまで40人の相談者を迎えることが出来ました。突然の大震災により、相続や土地の権利、二重債務、家庭内のことなど、多くの被災者が抱えている悩みを、親身になって相談を聞き、アドバイスして頂きます。どうぞお気軽にご相談ください。

なお、多くの方の相談を受けるため、事前予約をして頂いておりますので電話ください。弁護士2名が対応します。

予約先：三鉄盛ふれあい待合室 ☎47-3542



ママ&ベビーサロン「こそだてシッフ」開催案内

気仙の助産士さんで作る「助産士有志の会」が主催する「こそだてシッフ」、1月は下記の日程で開きます。

- ◆ 1月11日(水) カメリアホール
 - ◆ 1月17日(火) 米崎町コミュニティセンター
- 両日とも、10:00~15:00 です。◆ 内容は、0歳からの育児のお世話、母乳のコツなど
- ◆ 問合せ先 TEL・FAX: 0192-27-9839 (伊藤)

東芝(株)支援のパソコン講座

受講生募集！「ワード・エクセル」

- ◆ 初級程度：15名：定員になり次第締め切ります
- ◆ 学習日時：毎週金曜日 午後1時30分～4時00分 ※講習開始：1月13日が初日
- ◆ 学習場所：猪川地区公民館 2階 猪川町字下権現堂
- ◆ 受講料：月額2,000円
- ◆ 申込先：NPO法人夢ネット大船渡 担当：西村幸雄 TEL090-7078-5150

編み物の作品展示会&お茶会 細根沢仮設



12月19日(月)、陸前高田市竹駒町にある「細根沢地区仮設住宅」で編み物作品展・お茶会が開かれていました。ここは、夏場は畑を1人一畝借りて野菜作りで好きな物を作っていたそうです。徐々に寒さもまましてきて外に出る機会も少なくなるとコミュニケーションも取りにくくなるということで、集会場で編み物教室を行うこととなったそうです。丁度編み物の先生も仮設内の住んでいたこともあり、数名で声を掛け合いみんなで色々な作品を作っていました。簡単にできる物ということで、帽子・マフラー・ネックウォーマー・アクリルたわし等を作っていました。「お金をかけずに楽しみましょう」と12月から始め、すでに10回以上は行われているそうです。お茶会も皆さんの手作りのお菓子や飲み物を持ち寄り、時には外まで聞こえるくらいの笑い声、パトロール中の夢ネット大船渡の村上さん、地域づくりサポートネットの高橋さんも一緒にお茶会に呼ばれました。笑顔が絶えない場所でした。

クリスマス飾り作成用に布地やモールを進呈

陸前高田市立高田保育所へ

12月8日(木)クリスマス迄には、まだ日数がありますが震災に遭い被災して旧米崎保育園で再開中の市立高田保育所の園児たちにクリスマスグッズ作成のための素材をと思いカラフル模様の布地やモールを持参いたしました。今日は行事の開催中で子供たちには面会できませんでしたが、職員室に在室中の4人の先生方に受け取って頂きました。丁度これから、子供たちでクリスマス用のグッズ作りを予定しておりますとのことで、大変に喜んでいただきました。



復興ニュースは4月11日から発行し、新年1月4日発行にて56号となりました。この間、9月からは中央共同募金会から助成を受けて、毎回4000部発行して仮設住宅や公共施設・ショッピングセンター等に置き、多くの皆様への情報紙としての役割を果たしてまいりました。中央共同募金会からの助成による発行は今号にて終了し、次回からは新たな対応にて発行し続けたいと思っています。引き続き皆様のご指導・ご支援を心からお願い致します。

みんなのクリスマス会報告



12月23日、三鉄盛駅ふれあい待合室で開かれた「みんなのクリスマス会」には、全国からの支援にて大成功裡に終了いたしました。

午前10時のオープニングに「椿百花童」によるよさ恋、①民謡はふるさと、②赤い椿の大船渡、③椿ソーランの3曲を元気に踊って頂きました。そこに遠野まごころネットからのサンタクロース、代表の大野博之さん（東京）ら10名がプレゼントを沢山持参して到着しました。

田中宏さん（東京）の朗読は、ホームに停車している三鉄車両

内で行って頂きました。その後遠野まごころネットのサンタクロースからプレゼントがよい子へ渡されました。

お菓子の家は、横浜ドイツ人学園から送られたもので、クッキーやお菓子の家も送られ、多くの皆様に喜んで頂きました。



地の森仮設で「餅つき」

12月24日、地の森仮設では一足早く、地の森仮設自治会主催で、大阪の元気人間製造研究所々長の森重子さんから贈られた餅米等で「もちつき」を行い、全入居者と日頃お世話になっている方々へご馳走しました。あんこもち、黄粉もち、ゴマもち、クルミ餅等々、美味しいおもちを食べ、元気に正月を迎えられるようでした。



第2回陸前高田市ネットワーク連絡会

12月13日に矢作コミュニティセンターで最初の連絡会を開き交流しました。第2回陸前高田市ネットワーク連絡会を、1月10日午前10時から、米崎町字川向14-1「米崎コミュニティセンター（自然環境活用センター）」で開催します。

- ◆議題：①陸前高田市より震災復興計画の概要及び被災者支援の状況について
企画部・民生部・被災者支援室
- ②陸前高田市社会福祉協議会より生活支援相談員の活動について
- ③陸前高田市災害ボランティアセンターより最近のニーズについて
- ④意見交換

◆出席報告 1月6日(金)までに メールで報告ください。
メールアドレス rikutakanet@yahoo.co.jp

暖かい年末年始に 冬物毛布200枚を配布



復興ニュース53号で、ご案内した冬物毛布の支援（配布元：大船渡アクションネットワーク）は、12月の中旬にかけ70件のお申し込みをいただき、12月末までに200枚以上の毛布を仮設住宅や在宅の被災者の皆さまにお届けしました。

お申し込み時には「高齢だし、夏に支給された毛布が薄くて寒い（陸前高田市・仮設）」「母屋が流失、離れに仮住まいのため寒さが辛い（大船渡市・在宅）」など切実なお話が寄せられ、お届け時には

「1階の物は全て流された。
毛布の支援は本当にうれしい

（大船渡市・在宅）」「一人暮らしのうえケガで外出もできない。毛布を届けてもらい暖かくすごせる（大船渡市・見なし仮設）」などお礼の声をかけていただきました。また不在時のお届けにも、後日、数件のお礼の電話をいただいています。

全国から寄せられた支援の毛布、多くの被災した方が暖かい年末年始を迎えることができました。



夢ネット大船渡 事務所

気仙市民復興連絡会も同居
大船渡市盛町字内の目 14-15
TEL (0192) 47-3271

4月5日、愛知ネットのご支援により、主な団体へ呼びかけて「気仙市民復興連絡会」を立ち上げ、YSセンター内の一室をお借りして、救援物資の運搬、4月11日からの炊き出しを行って来ました。その後余震で天井が落下する被害が発生したことから、末崎町石浜にコンテナハウス（愛知ネット支援）を建てて、被災者支援活動を行って来ました。

12月をもって愛知ネットからの事務所運営支援が終了することから、今度は夢ネット大船渡の事務所として、12月18日に上記場所へ移転し、今度は夢ネット大船渡の事務所として、気仙市民復興連絡会が同居することになりました。また、浜松市の地域づくりサポートネットも引き続き同じ事務所にて、協力しながら被災者支援事業を展開することになりましたので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

場所は、県道丸森権現堂線の大船渡市民体育館入口のガソリンスタンドの裏、食堂小鹿の向えの大家が佐々木権四郎様の離れの木造2階建てです。1階は応接兼事務室、2階2間が事務室となっています。どうぞお気軽にお立ち寄りくださるようお願いいたします。



アイスプラントの苗をお届け



復興ニュース54でご案内したアイスプラントの苗20ポットを、ご希望のあった皆さまにお届けしました。

まだ小さな苗ですが、暖かい場所でうまく冬越しさせれば、春から夏にかけて成長と収穫が楽しめます。

申込者の中には「今は仮設住まいだが、春になったら被災した自宅の庭に行って移植したい。」とお話する人もいらっしゃいました。どうぞたいせつに育ててください。

